



みなみながさき

豊島区立南長崎幼稚園
園長 見米 葉記

心と体を鍛えよう！

幼稚園経営支援員 飯島光正

東京都では令和6年度から「とうきょう すくわくプログラム推進事業」を実施しています。目的は全ての乳幼児の「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探求心（わくわく）」を応援する幼保共通のプログラムであり、乳幼児の豊かな心の育ちをサポートするため、主体的・協働的な探究活動の実践を推進するものです。

本園では昨年・一昨年と「音」をテーマに「すくわく推進事業」進めてきました。園児にとって音の存在は興味や関心を引くもので、言語をこえてつながるものでした。様々な体験を通して音への探求心を培い、多様な人とのコミュニケーション能力の芽生えを体感させ、表現する楽しさを体現することができました。

今年度は園児の心と体を鍛え、リズム感の育成や園庭での遊びを通じた体力づくりなどに焦点をあてたいと考えています。

幼児期は、5歳ころまでに大人の8割程度の神経機能が発達するといわれています。この時期はスポーツなどで同じ動きを繰り返すより、多様な動きをすることで、体内に様々な神経回路を複雑に張り巡らせていくことが大切です。それにより、力を加減したりタイミングよく動いたりするなどの運動調整能力が高まり、とっさの時に身を守る動きや将来のスポーツに結び付く動きが身に付いていきます。本園では、一人一人の子どもの興味や生活経験に応じた遊びの中で体を動かす楽しさや心地よさを実感できるように体を使って遊ぶ機会を多く設け、多様な動きを引き出すようにしています。ご家庭でも、体を動かして遊ぶ機会を増やしてみてください。

昨年に引き続き、全員でイケバスを利用したサンシャイン水族館遠足を6月11日に実施します。昼食の準備をお願いします。

6月の指導のねらい

- 4歳児**
 - 興味を持った遊びに自分から取り組み、友達と関わりながら遊ぶ楽しさを感じていく。
 - 保育者や友達と一緒に身体を動かしたり、リズムや歌声を合わせたりすることを楽しむ。
 - 手洗い、うがい、着替え、お弁当の支度などのやり方が分かり、自分でしようとする。
- 5歳児**
 - 自分なりに目的をもち、繰り返し考えたり試したりすることを楽しむ。
 - 友達と工夫して遊具を組み合わせたり、身近な素材で作ったりして、遊びのイメージを実現する楽しさを味わう。
 - グループの友達とする活動が分かり、自分の考えを言ったり、友達の考えを聞いたりしながら一緒に取り組む。